

# 日本私立大学協会 私立大学ガバナンス・コード<第2.0版>【概要】

## ■日本私立大学協会 私立大学ガバナンス・コード<第2.0版>の特徴

### (1) 運用面のポイント

#### ①コンプライ・オア・エクスプレイン方式を採用【R6.3.25:第160回総会（春季）了承】

**目 的** 加盟大学のガバナンス強化に係る自主・自律的な取組みを一層促進することにより、私立大学全体の経営の健全性の更なる向上・発展を目指していくため

プロトタイプ<第1版>からコンプライ・オア・エクスプレイン方式<第2.0版>を採用した加盟大学共通のガバナンス・コードへ

本協会が策定したガバナンス・コードに対して

<第1版> ◎各々の大学の実情に応じて実行できる条項を活用して、それぞれの大学版ガバナンス・コードを制定・公表するための指針



<第2.0版> ◎それぞれの大学が自ら遵守（実施）状況を点検し、その結果を広く社会に公表するための指針

#### ▷ 加盟大学が実施すること

##### 《必須》

◎本協会が策定したガバナンス・コード(以下、「本コード」という。)の『**基本原則＝建学の精神等の基本理念に基づき遵守（実施）すべき教学・経営の運営上の基本**』及び『**原則＝基本原則を遵守（実施）するために実施すべき原則**』（以下、「各原則」という。）について、各々の大学の実情を踏まえて解釈し、自ら「遵守（実施）しているか」、「遵守（実施）していない場合の理由あるいは今後の対応方針（検討状況）を説明するか」を判断する。

◎各原則の遵守（実施）状況の自主的な点検結果を各大学のホームページに掲載することにより広く社会に公表する。

##### 《任意》

◎『**実施項目＝「原則」を遵守（実施）するために取り組むことが必要と考えられる項目**』の取組状況を公表する。

◎「実施項目」とは異なる独自の方法で、「基本原則」を遵守（実施）していると判断した場合の取組内容を公表する。

## ②本協会への報告及び本協会による公表

### 目 的

私立大学に対する社会からの理解促進及び私立大学全体の健全性向上に貢献するため

※本協会が本コードにより加盟大学を管理監督することはない

#### ▷加盟大学が実施すること

##### 《必須》

◎自主的な点検結果を踏まえた「点検結果報告書（本協会が別に定める様式）」を本協会に提出する。

#### ▷本協会が実施すること

◎当該大学からの承諾に基づき、「点検結果報告書」の掲載先 URL を、本協会ホームページにおいて公表する。

## ③本コードの改訂について

◎本協会は、今後も本コードに対する加盟大学の遵守（実施）状況や社会的要請を踏まえ、本コードの改善に努める。

## ④本コードの適用開始日

◎令和7年4月1日（令和7年度の遵守（実施）状況の点検）より適用する。適用開始日をもって第1版を廃止する。

## ⑤今後の予定

◎本協会は、加盟大学における「点検結果の公表」及び「本協会への報告」に関する取り組みを支援するため、本コードに対応した「点検結果報告書」の『様式』及び『作成の手引き』を作成するとともに、説明会を実施する。

## (2) 構成面のポイント

### ①本コードの構成

◎ 4つの「基本原則」及びそれに紐づく9つの「原則」、24の「実施項目」の3層で構成している。

※ コードの内容は、コード本体「5頁～8頁」参照

基本原則	◎ 建学の精神等の基本理念に基づき遵守（実施）すべき教学・経営の運営上の基本									点検結果の公表・本協会への報告 《必須》
	1 自主性・自律性の確保 （特色ある運営）	2 公共性・社会性の確保 （社会貢献）	3 安定性・継続性の確保 （学校法人運営の基本）			4 透明性・信頼性の確保 （情報公開）				
原則	◎ 「基本原則」を遵守（実施）するために実施すべき原則									点検結果の公表・本協会への報告 《任意》
	1－1 建学の精神等の基本理念に基づく教学運営体制の確立	1－2 中期的な計画の策定方針の明確化及び進捗管理	2－1 教育研究活動の成果の社会への還元	2－2 多様性への対応	3－1 理事会の構成・運営方針の明確化	3－2 監査機能の強化及び監事機能の実質化	3－3 評議員会の構成・運営方針の明確化	3－4 危機管理体制の確立	4－1 教育研究・経営に係る情報公開	
実施項目	○ 「原則」を遵守（実施）するために取り組むことが必要と考えられる項目									
	1－1① 建学の精神等の基本理念及び教育目的の明示 1－1② 「卒業認定・学位授与の方針」、「教育課程編成・実施の方針」及び「入学者受入れの方針」の実質化 1－1③ 教学組織の権限と役割の明確化 1－1④ 教職協働体制の確保 1－1⑤ 教職員の資質向上に係る取組みの基本方針・年次計画の策定及び推進	1－2① 中期的な計画の策定方針の明確化及び具体性のある計画の策定 1－2② 計画実現のための進捗管理	2－1① 社会の要請に応える人材の育成 2－1② 社会貢献・地域連携の推進	2－2① 多様性を受容する体制の充実 2－2② 役員等への女性登用の配慮	3－1① 理事の人材確保方針の明確化及び選任過程の透明性の確保 3－1② 理事会運営の透明性の確保及び評議員会との協働体制の確立 3－1③ 理事への情報提供・研修機会の充実	3－2① 監事及び会計監査人の選任基準の明確化及び選任過程の透明性の確保 3－2② 監事、会計監査人及び内部監査室等の連携 3－2③ 監事への情報提供・研修機会の充実	3－3① 評議員の選任方法や属性・構成割合についての考え方の明確化及び選任過程の透明性の確保 3－3② 評議員会運営の透明性の確保及び理事会との協働体制の確立 3－3③ 評議員への情報提供・研修機会の充実	3－4① 危機管理マニュアルの整備及び事業継続計画の策定・活用 3－4② 法令等遵守のための体制整備	4－1① 情報公開推進のための方針の策定 4－1② ステークホルダーへの理解促進のための公開の工夫	

点検結果の公表・本協会への報告  
《必須》

点検結果の公表・本協会への報告  
《任意》